

—習近平政権が描く超大国 100 年の設計図—

2050年の中国

中国が 2050 年に目指す「社会主義現代化強国」とは？

壮大かつ詳細なロードマップを明らかにした第一級の論考、初邦訳版！

内容紹介

アメリカに並ぶ超大国に向けて発展を続ける中国。先の党大会では 2035 年に「社会主義現代化」を基本的的に実現し、2050 年に「社会主義現代化強国」を完成させるという新たな目標が示された。

では、中国が目指す社会主義現代化とは、現代化強国とは具体的に何を意味するのか？

本書は中国の習近平政権ブレインの第一人者である胡鞍鋼清華大学教授ら研究チームが豊富なデータを分析し「社会主義現代化強国」への発展の歩みを大胆に予測。中国の建国 100 年の翌 2050 年までの壮大かつ詳細なロードマップを明らかにした第一級の論考となる。待望の初邦訳版！

【著者紹介】 胡鞍鋼（こ あんこう）1953 年生まれ。清華大学公共管理学院教授、同大学国情研究院院長。中国共産党第 18 回党大会代表。国家「第 11 次五カ年計画」「第 12 次五カ年計画」「第 13 次五カ年計画」専門家委員会委員、中国経済 50 人フォーラムメンバー。自身が主導し創設した清華大学国情研究院は、国内一流の国家政策決定シンクタンクである。国情研究に従事して 30 年来、出版した国情研究に関する専門書・共同著書・編著・外国語著書は 100 以上に及ぶ。邦訳に『中国のグリーン・ニューディール』、『SUPERCHINA ～超大国中国の未来予測～』、『中国の百年目標を実現する第 13 次五カ年計画』、『習近平政権の新理念—人民を中心とする発展ビジョン』、『中国集団指導体制の「核心」と「七つのメカニズム」—習近平政権からの新たな展開』、『中国政治経済史論—毛沢東時代（1949～1976）』(以上、日本僑報社) などがある。中国国家自然科学基金委員会傑出青年基金の援助を獲得する。中国科学院科学技術進歩賞一等賞（2 回受賞）、第 9 回孫治方経済科学論文賞、復旦管理学傑出貢献賞などを受賞。

鄒一龍（ぞういちりゅう）清華大学国情研究院副院長、副研究員、公共管理学院副教授。

唐嘯（とうしょう）清華大学国情研究院准研究員、公共管理学院准教授。

劉生龍（りゅうせいりゅう）清華大学国情研究院副研究員、公共管理学院副教授。

胡鞍鋼、鄒一龍、唐嘯、劉生龍 著 段景子 訳



【訳者紹介】 段景子（だんけいこ）1989 年北京から来日。1996 年より日本僑報社創立に参加。テンプル大学日本キャンパス、日本女子大学の教員などを経て、2004 年より日本僑報社取締役。2008 年より日中翻訳学院事務局長。2012 年に日中著作権代理センターを設立するなど、日中両国の出版界交流の促進に尽力する。高知県立大学大学院にて博士（社会福祉学）学位を取得。立教大学共生社会研究センター研究員、中国・開澤弁護士事務所日中著作権センター高級顧問、豊島区多文化共生推進基本方針策定検討委員会委員などを兼任。

ご注文は、全国の書店、アマゾンなどをご利用いただけます。トーハン 日販 その他 取次コード：5752

 <p>2050年の中国 習近平政権が描く 超大国 100 年の設計図</p> <p>ISBN 978-4-86185-254-1 発行日：2018 年 10 月 29 日 四六判：164 頁 定価：本体 2050 円＋税</p> 	注文部数	<p>ご注文 / 番線印</p> <p>注文部数、住所 〒、氏名、電話番号をご記入ください</p>
	部 (送料無料)	
<p>送信 FAX 03-5956-2809</p>		